



(中学生向け)

大人になる前に 知っておきたいお金の話

2024年○月○日



○J-FLEC（ジェイフレック）は、お金の勉強をみなさんに届けるため、
『**国と民間の団体が協力してできた公的な会社**』です。

お金の知識を
あなたの力に
J-FLEC

J-FLEC

金融経済教育推進機構



目次

1

【はじめに】
金融リテラシー
ってなに？

2

【使う】
生活設計
(ライフプランニング)

3

【使う】
家計管理
と決済

4

【貯める・増やす】
資産形成
の基本

5

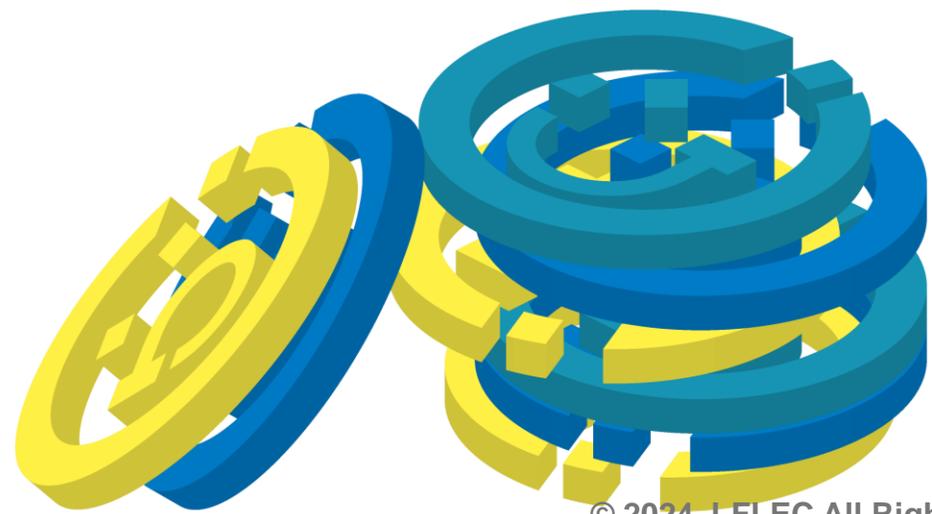
【備える】
保険
の仕組み

6

【借りる】
ローン・
クレジット

7

【注意】
金融トラブル



1 【はじめに】

金融リテラシーってなに？

○当てはまるものはありますか？



海外留学
がしたい



一人暮らし
がしたい



将来のために
お金を上手に貯めたい



ブランド品
を買いたい



起業して
社長になりたい



やりたい仕事
がある

- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを身につけることは安心した生活に繋がります。

金融リテラシーが高いと…

- 将来のために計画的にお金を準備することができる。
- 詐欺などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **お金の管理がしっかりしているので、経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



○2022年4月から『**成年年齢が18歳に引き下げ**』られました。

18歳からできるようになること

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む



注意点

(2022年3月まで)

⇒18歳は未成年なので、
契約を取り消すことができた

(2022年4月以降)

⇒18歳は成年なので、
契約を取り消せない

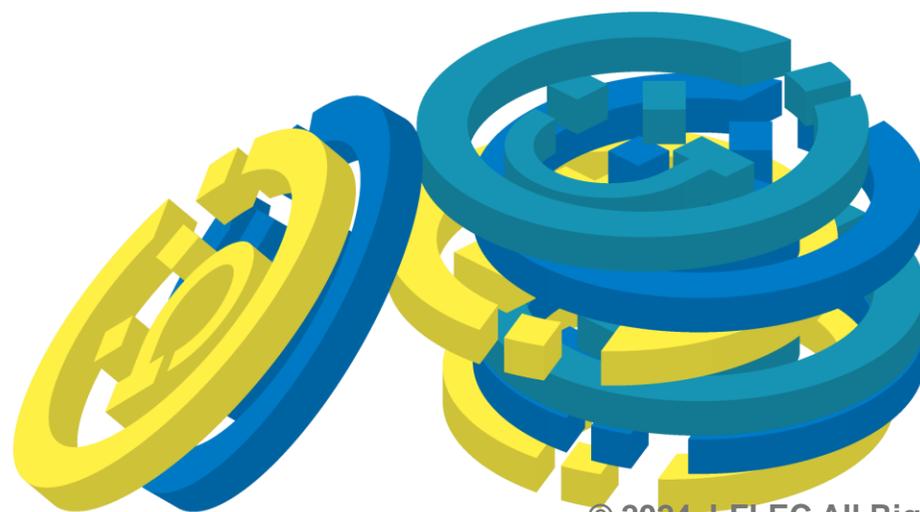


特に**悪質商法や詐欺のような契約には注意！**
正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！



2【使う】

生活設計 (ライフプランニング)



○「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計（ライフプランニング）』といいます。



一人で世界中を
旅行してみたい



好きなことを
たくさん楽しみたい



こんな家で
暮らしていきたい

○ 皆さんがやってみたいライフプランの多くは、お金がかかります。『**実現のためには収入を得ることが必要**』です。



例えば、海外旅行でハワイに行くと1人あたり20～40万円くらい、家を買うと3,000～5,000万円くらいかかります。

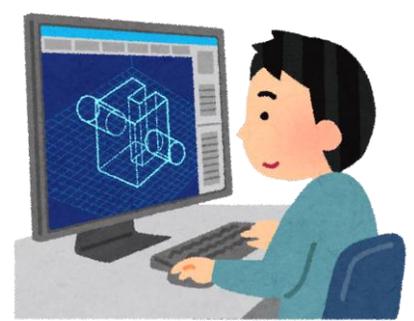


- 収入を得るためには、『働いて賃金をもらうこと』が一般的です。
- 大人は、『人の役に立つこと』や『人が喜ぶこと』をしてお金をもらっています。

例えば・・・



医者**は**病気の人を治して**お**金をもらっています

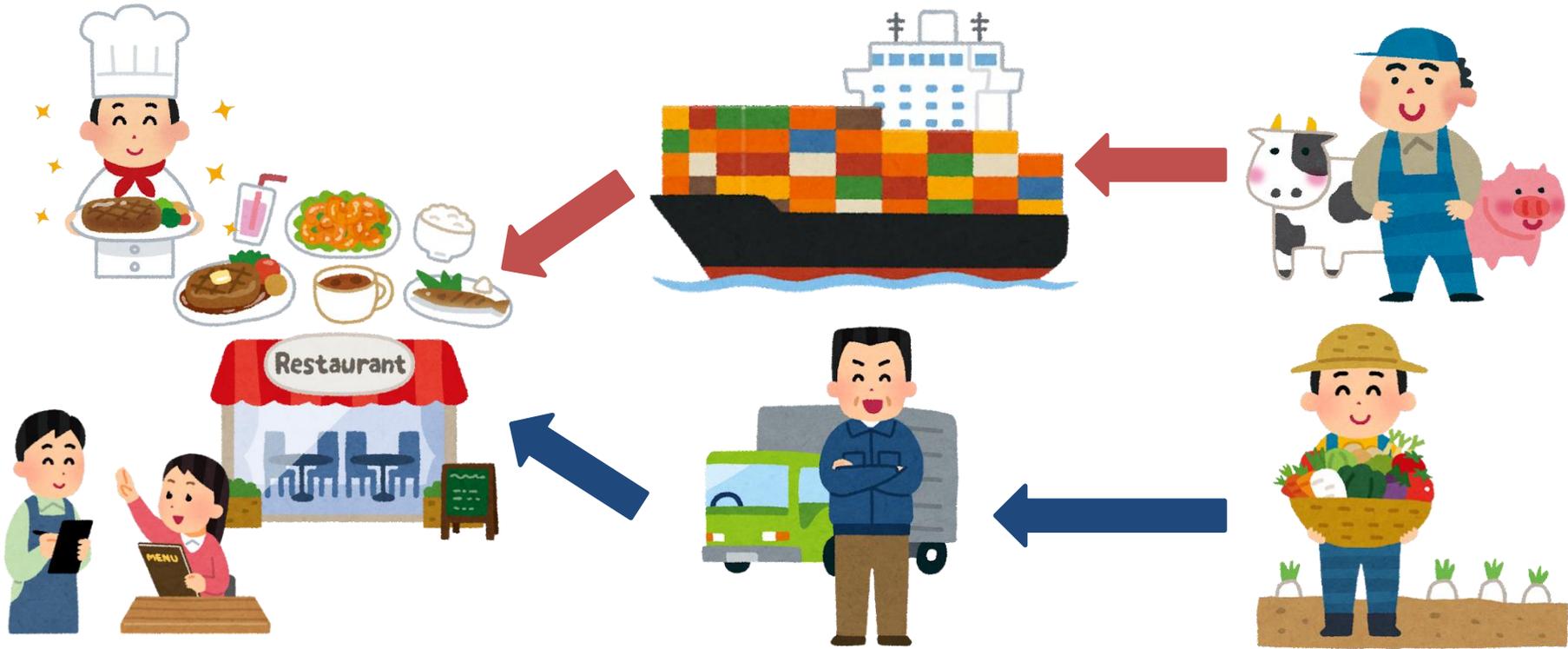


プログラマー**は**様々な社会のシステムやアプリケーションを開発して**お**金をもらっています



学校の教師**は**皆さんに勉強を教えて**お**金をもらっています

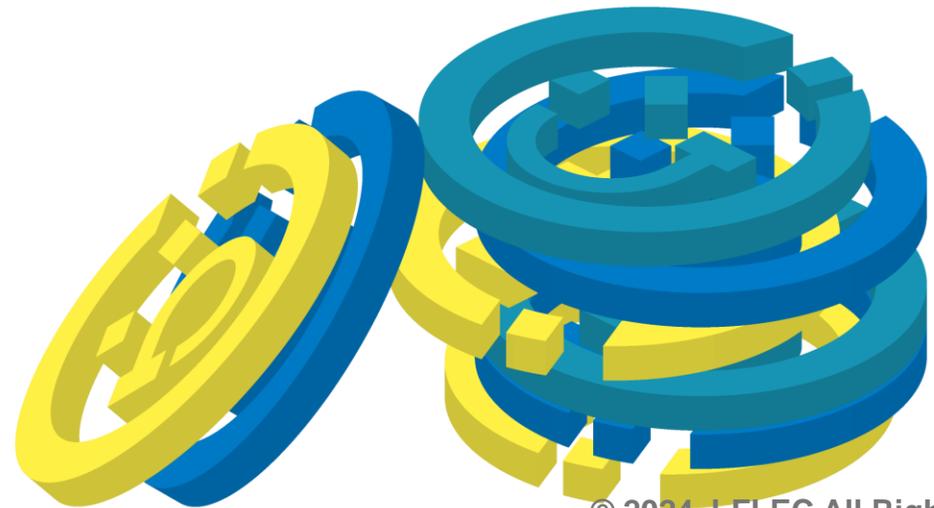
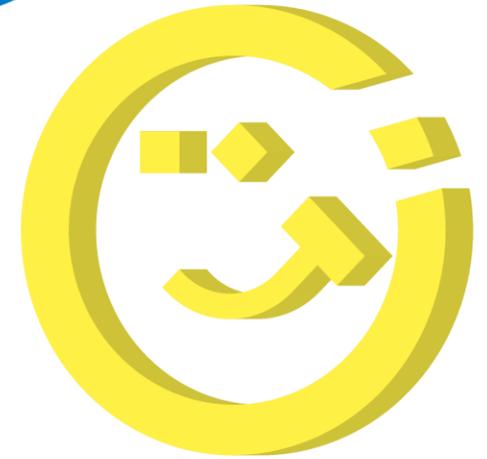
○社会は、多くの人たちが働いて協力することで成り立っています。



例えば皆さんがレストランで食事をした場合、店員の他に、野菜や肉の生産者、食材をトラックや船で運ぶ運送業者等、いろいろな人が関わっています。

- 皆さんが店舗でお金を支払うと、そのお金は店員の給料や、その商品を作るための材料など、様々な所へ巡っていきます。



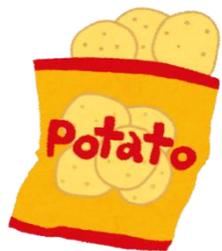


3 【使う】

家計管理と決済



- お小遣い1000円を持って買い物に行つたとします。
- あなただったら、何を買うか、また何故そのようにしますか？



¥ 200



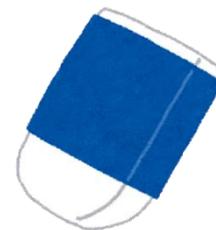
¥ 100



¥ 100



¥ 200



¥ 100



¥ 300



¥ 400



¥ 1000



¥ 5000



¥ 8000

○ 何を買うか、どう考えるかは皆さんの価値観によって異なります。



新しい文房具が欲しかったから、鉛筆と消しゴムを買おう

今回は何も買わずにお金を貯めてゲームや洋服が買いたい！

甘いものが好きだからお菓子を買う！



何を買うかに正解はありませんが、「計画的に買い物をするようにする」「自分の持っているお金の範囲内で買い物をする」ということが重要です。

クイズ



皆さんがお店で商品を買ったり、お店が商品を買ったりするときの約束を、売買契約といいます。では、契約が成立するのはいつでしょう？

- ① 皆さんが商品を選んで、「これください」と言った時
- ② 店員さんが「はい、わかりました」と言った時
- ③ 商品を受け取った時
- ④ 代金を支払った時



答え

② 店員さんが「はい、わかりました」と言った時

『**契約**』とは、『**法律上の責任がともなう約束**』のことです。

契約が成立すると、買う人と売る人はお互いにお金を支払ったり、商品を渡したりしないといけません。

『**一方的にこの約束をやめることはできない**』ので、
買い物をするときにはよく考えることが重要です！

- 普段生活をするうえで、収入と支出のバランスを管理することを『家計管理』といいます。
- 『支出は収入の範囲内に収める』ことが重要です。

中学生の場合

収入

おこづかい
お年玉



支出

文房具 お菓子 洋服
友人との遊び ゲーム等



○お金の使い方を考える時は『**優先順位**』をつけましょう。

1. ニーズとウォンツを区別する。

- 必要なもの・こと (Needs : ニーズ)
- 欲しいもの・やりたいこと (Wants : ウォンツ)



2. お金を使うときには「**ニーズ (必要なもの)**」を優先しましょう

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。



家計の例

社会人の場合

収入

給与
賞与(ボーナス)



支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服代など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
ローン返済	クレジットやローン・奨学金の返済
そのほか	冠婚葬祭費や医療費など



+

貯蓄

使わずに貯めておくお金

皆さんの生活には
実はさまざまな
お金がかかっています。



(1) キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）

現金



(2) キャッシュレス決済

お札や小銭などの現金を使用せずにお金を支払うこと

電子マネー



デビットカード



クレジットカード



QRコード



※キャッシュカードにデビット機能を備えたものがあります。



電子マネー



デビットカード



クレジットカード



QRコード



特徴	事前にカード等にお金をチャージしておき、支払いの際はカード等の残高から支払われる	支払いを行うと、銀行などの口座からその場でお金が引き落とされる（中学校を卒業すると作れるようになることが多い）	支払いを行うと、後日利用した金額がまとめて銀行などの口座から引き落とされる（18歳になると作れるようになることが多い）	事前にスマホのアプリ等にお金をチャージしておき、支払いの際はアプリの残高から支払われる（事前にチャージをしていなくても、即時払いや後払いで利用できることもある）
支払い・チャージのタイミング	前払い	即時引き落とし	後払い	前払い（即時払いや後払いのものもあり）



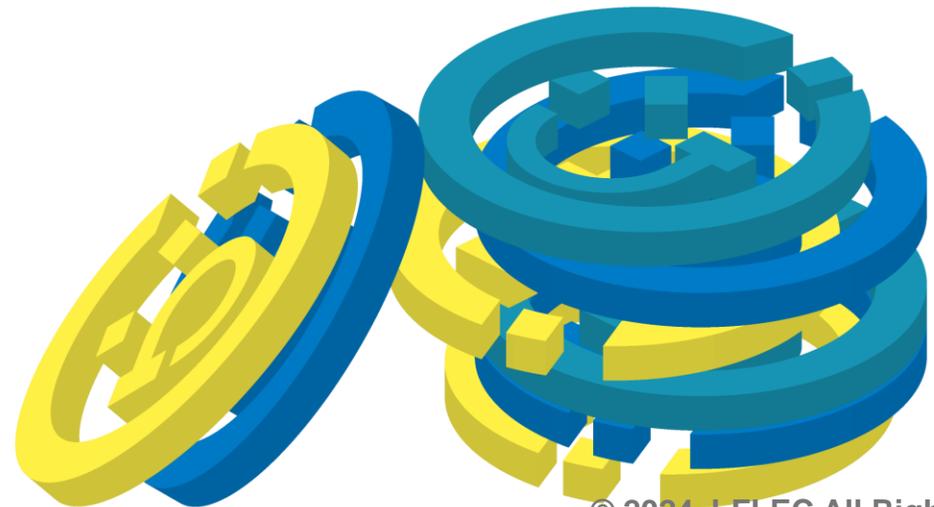
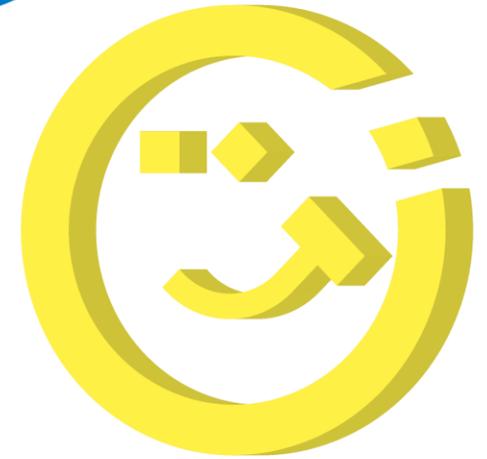
○キャッシュレス決済には、『**メリットと注意点**』があります。どちらもよく理解したうえで、自分の生活に合わせて賢く利用しましょう。

メリット

- ✓ 現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ✓ ATMに立ち寄る回数が減る
- ✓ お金のやり取りが簡単
- ✓ 何にいくら使ったか、アプリで確認できる など

注意点

- ✓ 使った実感がわきにくいので、使いすぎてしまいやすい
- ✓ 店舗によって利用できないこともある
- ✓ 停電時などに使えない
- ✓ 不正送金など犯罪への不安 など



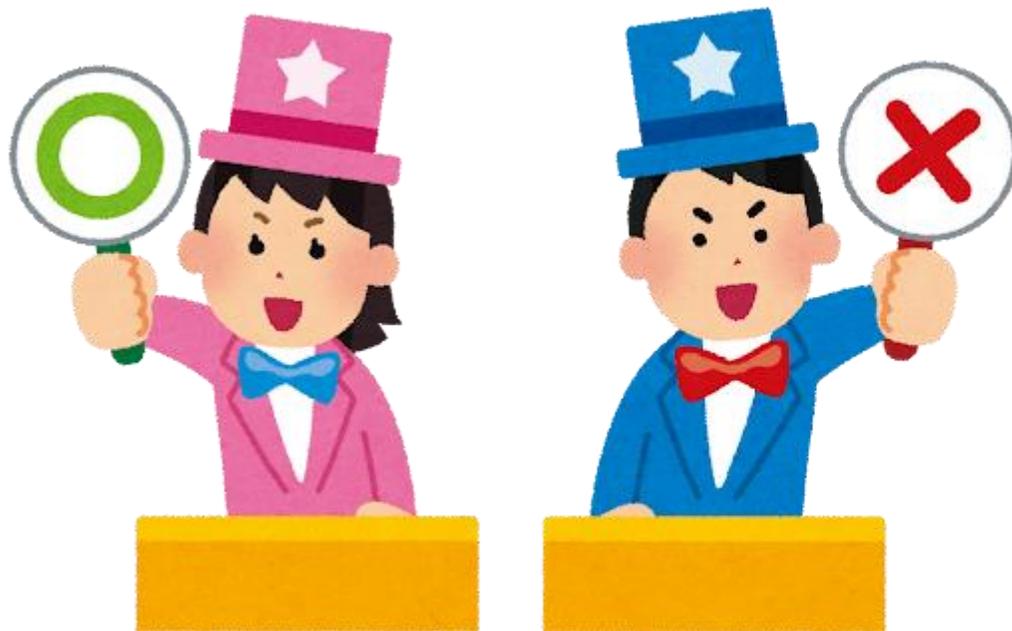
4 【貯める・増やす】 資産形成の基本



クイズ



毎月お小遣いを使って残った金額を貯めていくと、お金が貯まりやすい。○か×か？





答え

×

毎月残ったお金を貯めていく方法だと、
人間の心理的に目の前にお金を使ってしまいやすく、
思ったようにお金を貯めるのは難しいと言われています。
「毎月500円を貯金する」「お年玉の半分は貯金する」など、
ルールを決めるとお金が貯まりやすくなります！





- 例えば、お小遣いやお年玉をもらったら、自分でルールを決め、『**最初にその一部を貯める**』ようにしてみましょう。自分にとって無理のない金額で始めてみると、続きやすくなります。
- 社会人になったら、『**積立預金や積立投資**』などの仕組みも活用してみましょう。

例えば…



○ 預貯金や投資では、『**単利**』と『**複利**』という考え方があります。

– 単利：元本のみに利息がつく計算方法

– 複利：**元本と利息を合わせた額に利息がつく計算方法**

100万円を利率5% で運用する場合（税金等は考えない）

単利の場合

1年後：100万円 + 100万円 × 5% = 105万円

2年後：105万円 + (**100万円** × 5%) = 110万円

複利の場合

1年後：100万円 + 100万円 × 5% = 105万円

2年後：105万円 + (**105万円** × 5%) = 110万2500円

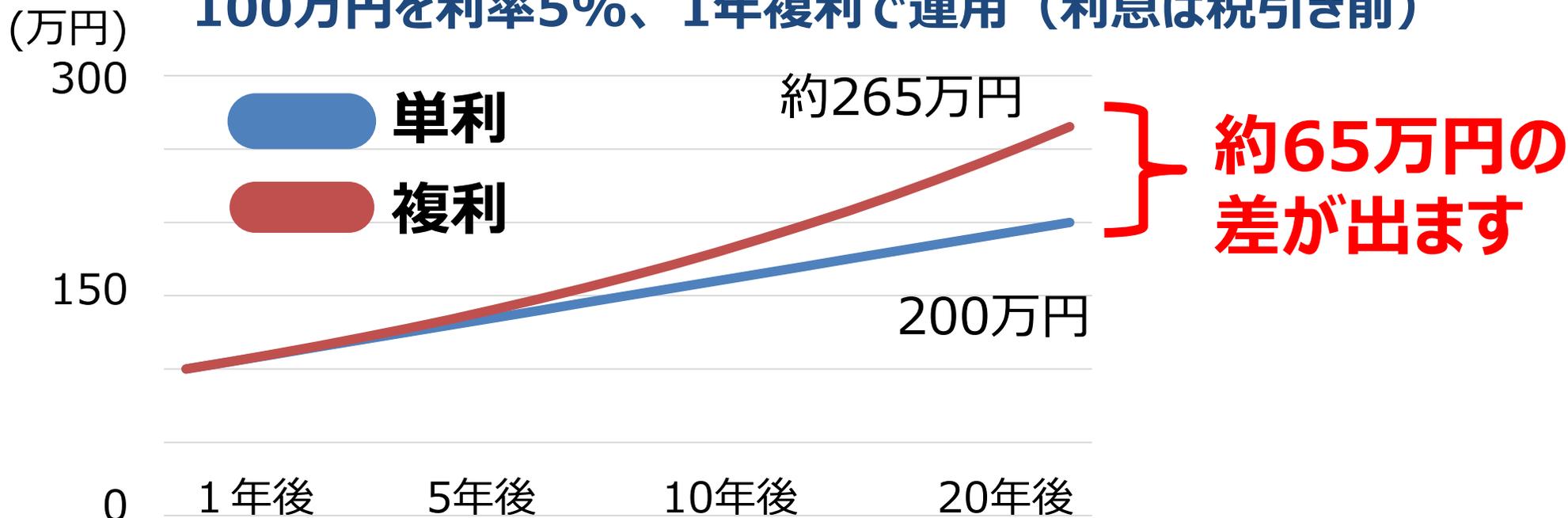
複利の場合は元本の100万円だけではなく、利息の5万円にも利息がつくため、より多く資産が増えることとなります。

○『**単利と複利では長期間で考えると大きな差**』が出ます。

– **単利**：元本のみに利息がつく計算方法

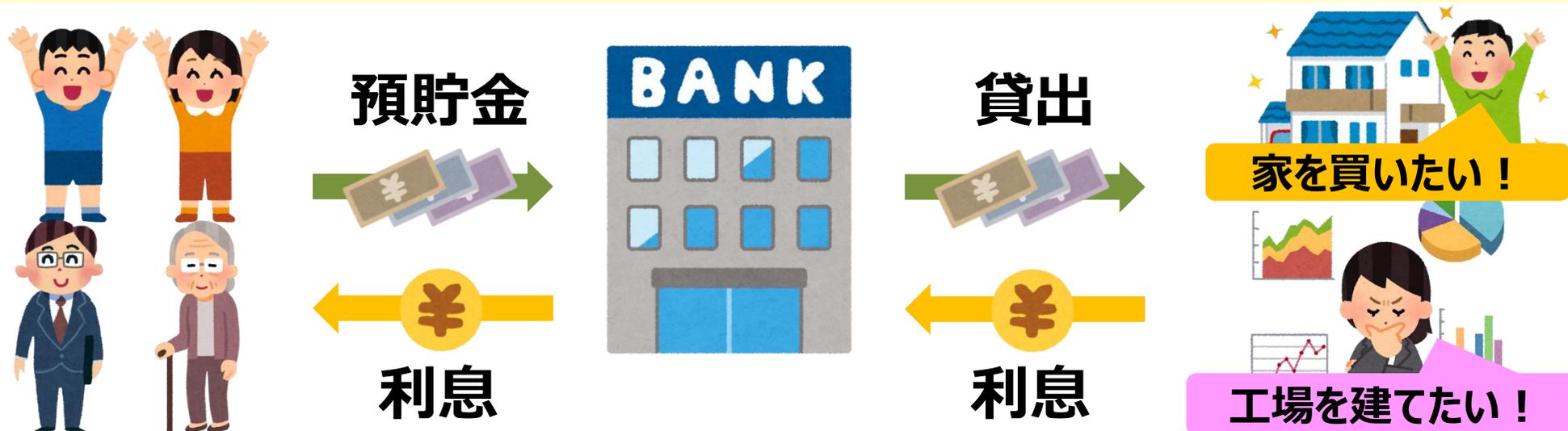
– **複利**：**元本と利息を合わせた額**に利息がつく計算方法

100万円を利率5%、1年複利で運用（利息は税引き前）



複利の効果を得るためにも、資産形成は長い時間コツコツ続けていくことが重要です。

- 皆さんが銀行などに『**預貯金**』をすると、その預けたお金はお金が必要な人や会社に『**貸出**』されます。
- 銀行からお金を借りた人や会社は、お金を借りたお礼として銀行に『**利息**』を払い、その一部が預貯金をした人に渡されます。



誰にお金を貸すかは預貯金をした皆さんではなく、銀行などが決めます。皆さんが、お金が必要な人や会社に間接的にお金を貸すことになるので、このような仕組みを『**間接金融**』といいます。



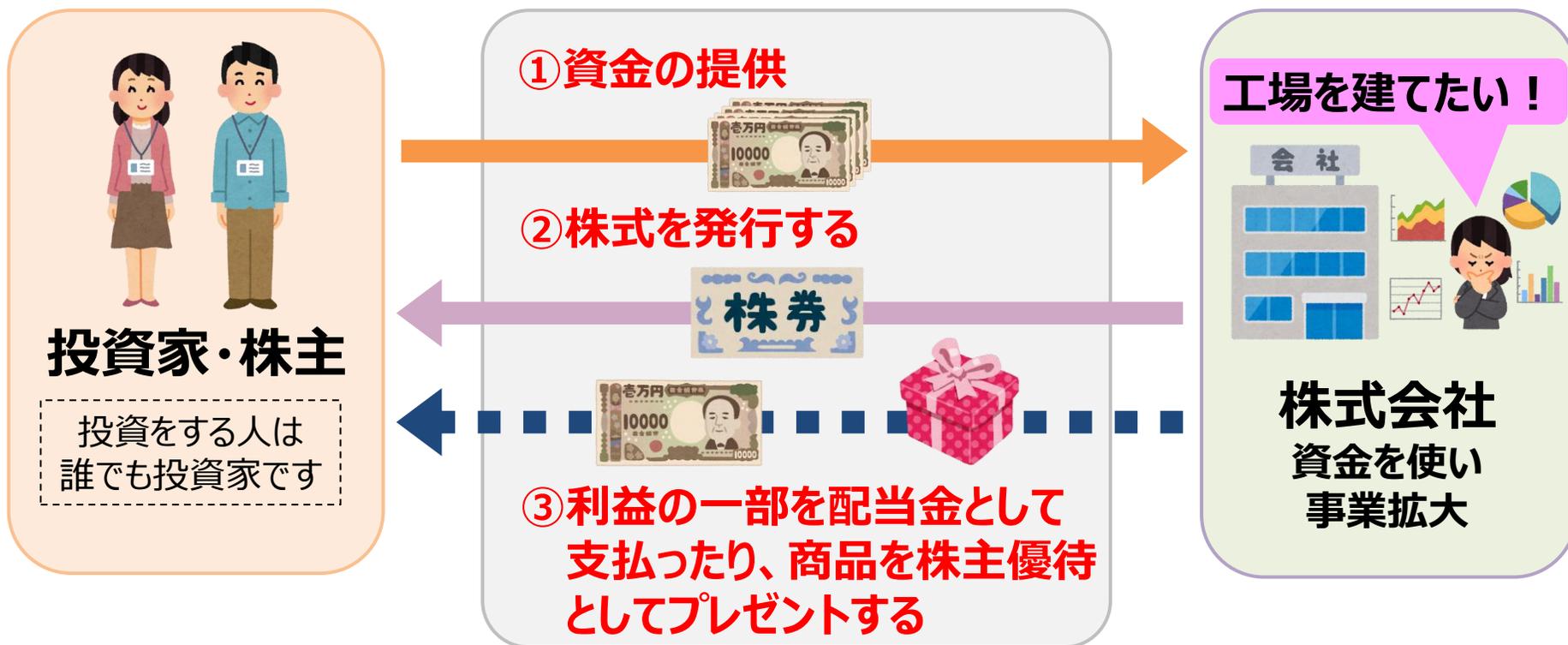
- 預貯金と違い、お金を必要とする相手に直接お金を提供する方法があります。
- この時、お金を提供する人を『投資家』といい、代表的な投資の商品として、『株式』や『債券』があります。



預貯金と違い、投資家は自分でどこの会社に投資をするか選び、直接お金を提供するので、このような仕組みを『直接金融』といいます。

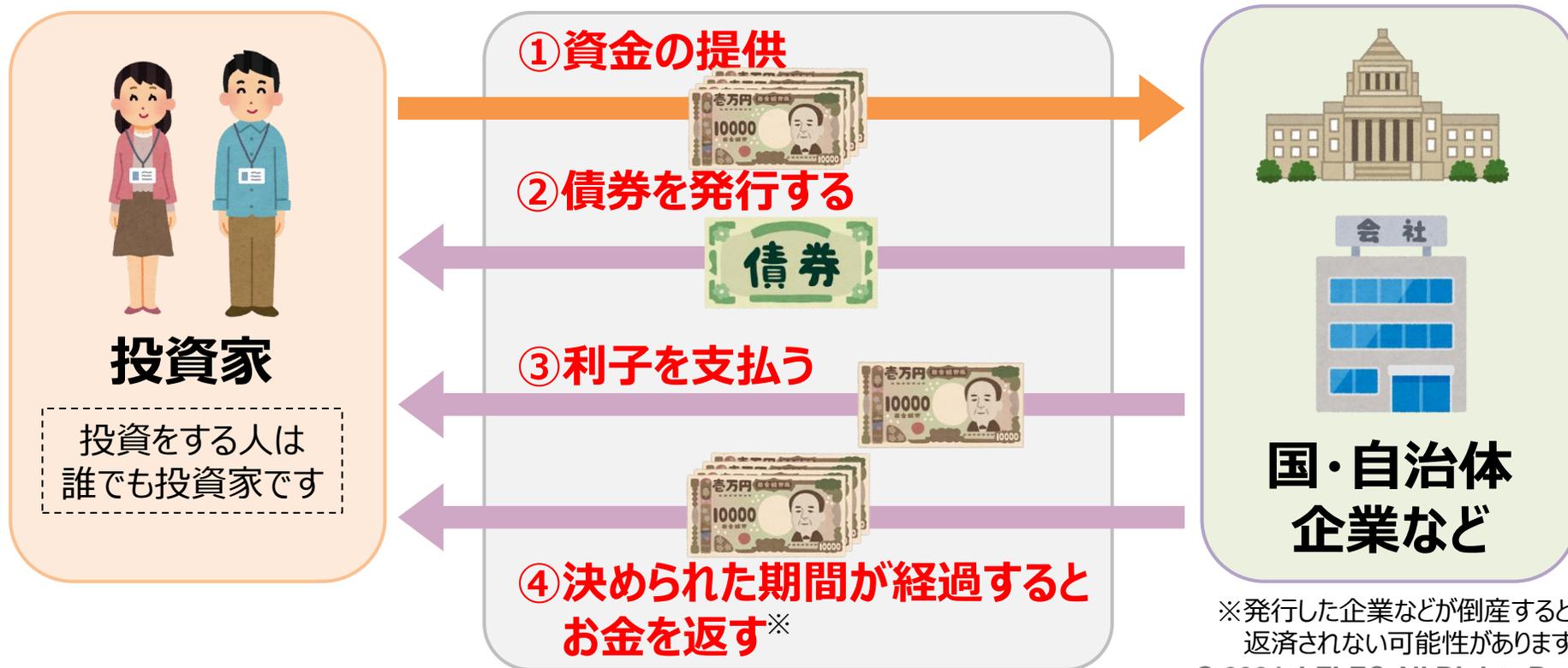


- 会社を応援してくれる投資家から『**株式**』でお金を集める方法もあります。お金を出してくれた証明に株式を発行します。
- 株式投資は、一般的にリスク・リターンともに大きくなります（ハイリスク・ハイリターン）。

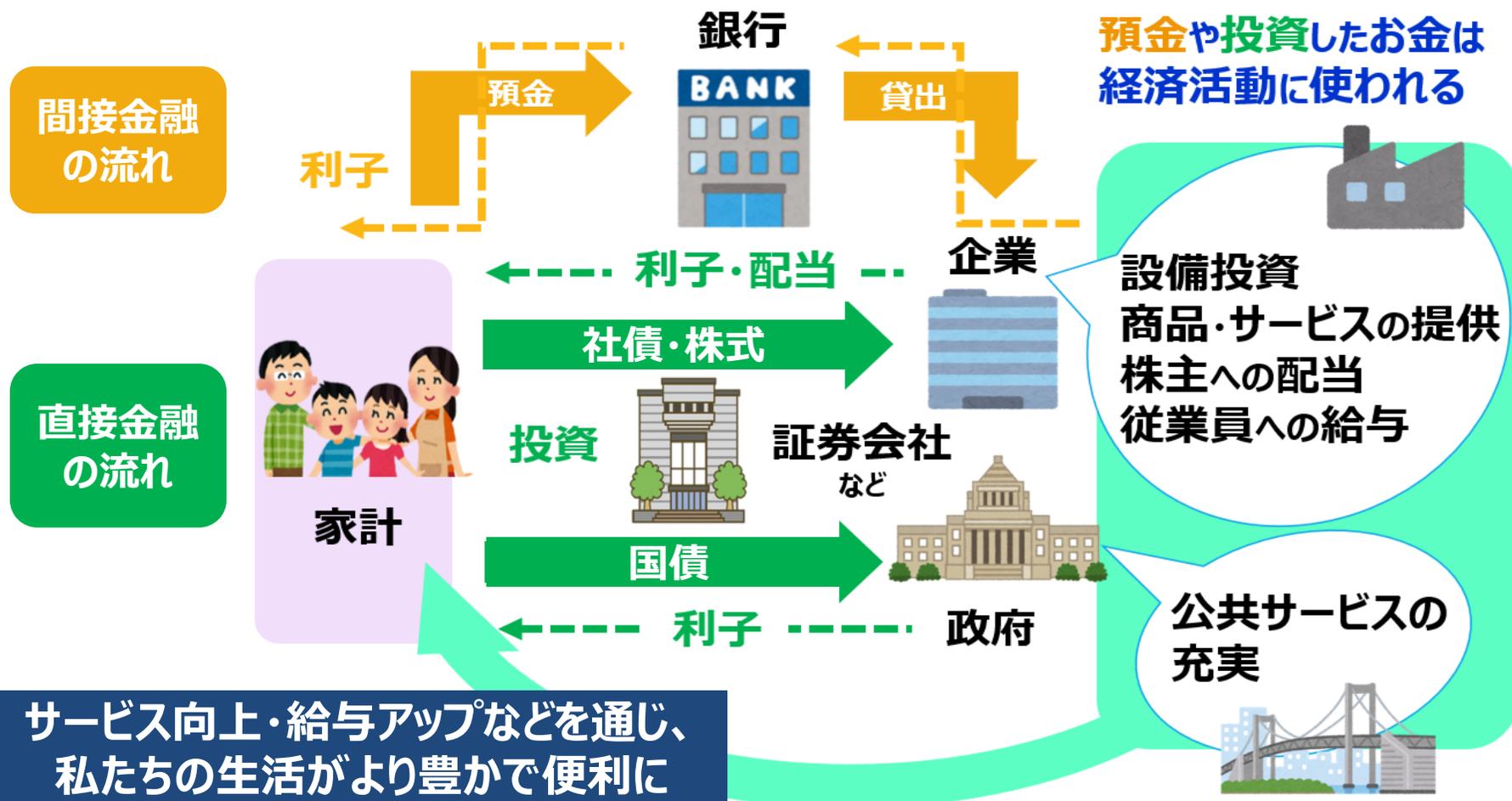




- 債券とは、国・自治体や企業が、投資家からお金を借りるために発行する『**借用証書のようなもの**』です。
- 債券投資は、リスクは小さくリターンも小さめですが、基本的に安全性は高めです（ローリスク・ローリターン）。



- 資産形成（預貯金・投資）は、『**経済活動を支える**』ことで、消費（商品の購入）と相まって『**経済を循環**』させています。



○消費や投資・寄付等を通じて、『社会課題の解決やSDGsに貢献する』ことができます。

SDGsとは

「持続可能な世界を実現する」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。



私たち

商品の購入

投資・寄付



環境
保全

貧困
対策

クリーン
エネルギー



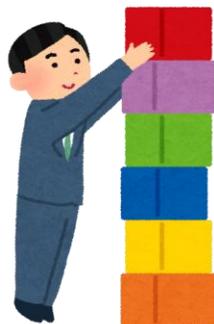
SDGsに取り組む企業

⇒ 消費（商品の購入）や投資（債券・株式などの購入）、寄付（クラウドファンディング等による被災地などへの寄付）等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できます。



○金融商品による資産形成の方法としては、「預貯金」と「投資」があり、『**目的に応じた金融商品を選択**』することが重要です。

預貯金



- ◆ 貯めることを重視
- ◆ 元本保証等確実性を重視
- ◆ 運用成果（結果）は商品選択時に決まっている

投資



- ◆ 増やすことを重視
- ◆ 元本保証はない
- ◆ 運用成果（結果）は商品選択時に決まっていない

主な金融商品

普通預貯金

定期預貯金

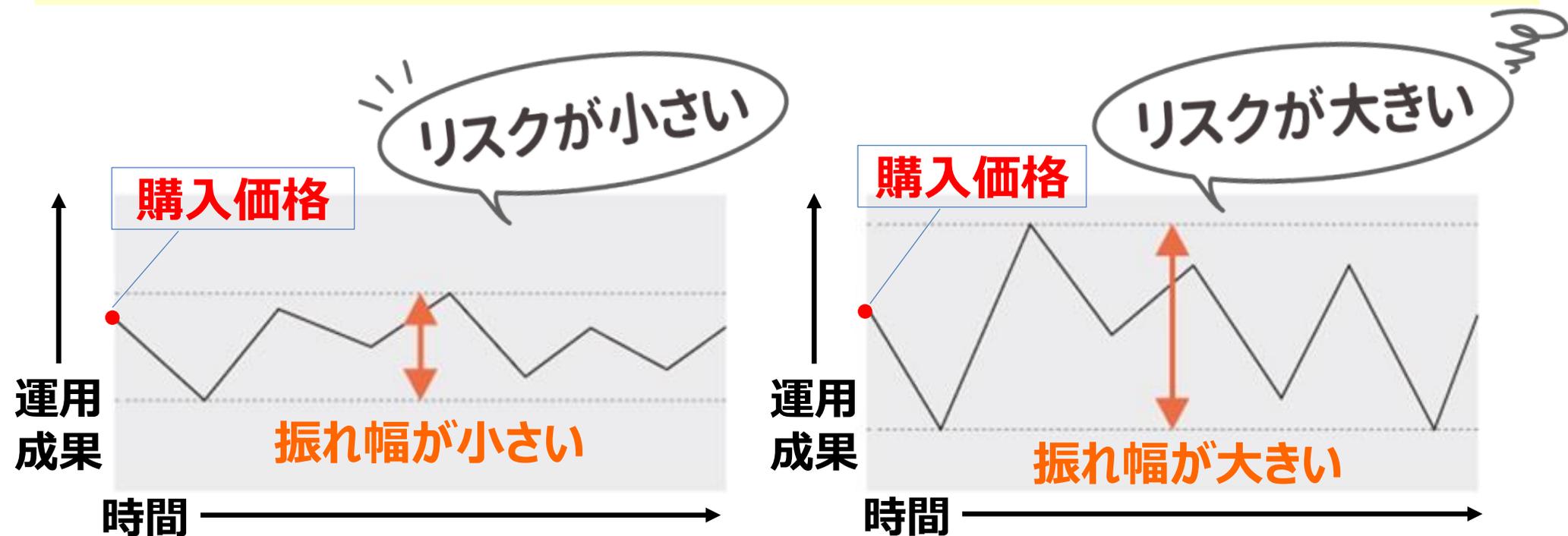
積立定期預貯金

株式

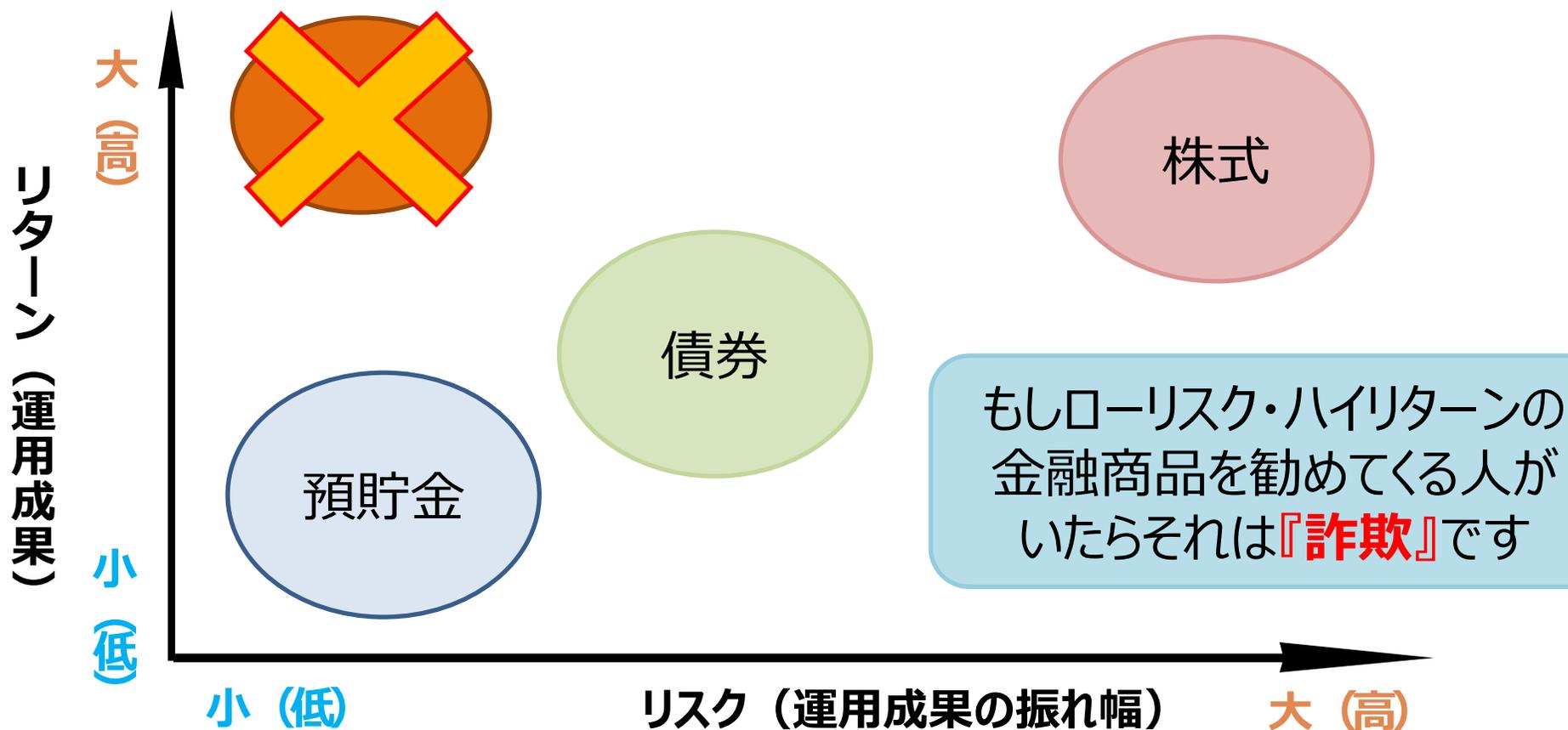
債券（国債・社債など）



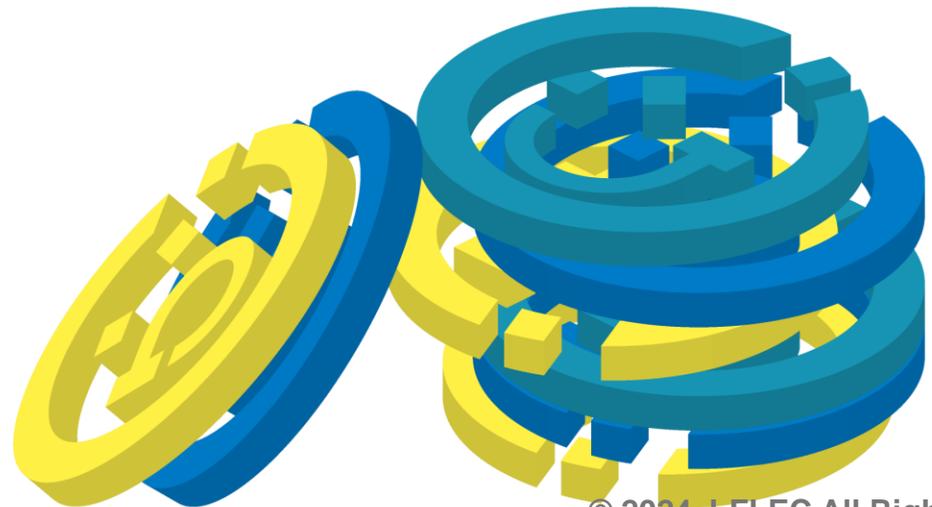
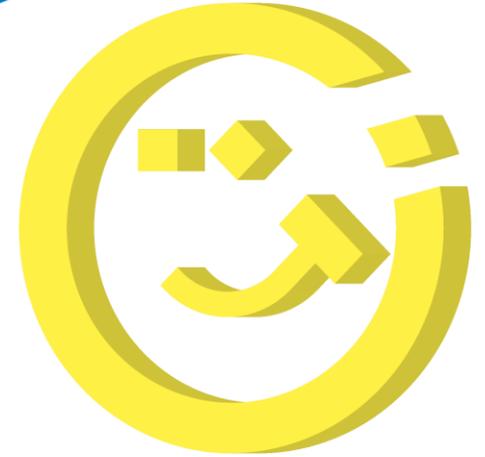
- 資産運用におけるリスクとは『**運用成果の振れ幅**』のことを指します。「リスクが大きい」とは、「とても危険」という意味ではなく、「大きくもうかるかもしれないし、大きく損をするかもしれない」（運用成果の振れ幅・不確実性が大きい）という意味です。
- 『**保険で備えるリスク（危険）**』とは意味が異なります。



- 原則、リスク（運用成果の振れ幅）とリターン（運用成果）は比例関係なので、『**ローリスク・ハイリターンの金融商品は**ありません』。



5【備える】 保険の仕組み

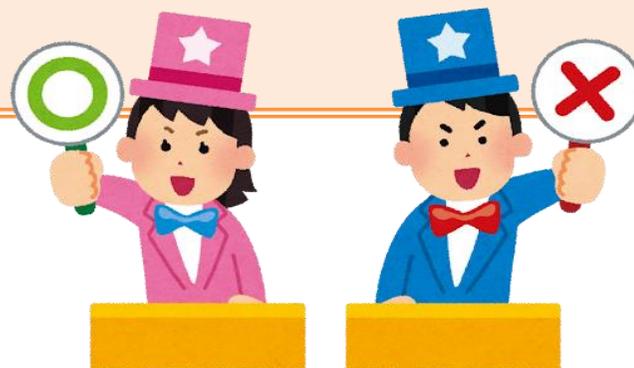


クイズ



実際にある保険はどれ？

- ① ペットの病気やケガの治療費を補償する保険
- ② 自転車で事故が起きたときのケガの治療費や被害者への賠償金を補償する保険
- ③ 旅行先が雨だったら旅行代金が戻ってくる保険
- ④ ライブに行けなくなってしまった時にチケット代が戻ってくる保険



答え

①～④全て

保険には、人生の様々なリスクを補償してくれる商品があります。
①ペットの病気やケガ②自転車での事故といったものだけでなく、
③旅行先が雨だった時や④ライブに行けなくなってしまった時に
補償を受けられるような商品も存在します。



- 人生には『**様々なリスク（危険）**』が存在します。
- リスクに対して、『**どのように備えればよい**』でしょうか。

例えば、



ケガをした



病気になっ
た



家が火事
にあった



親など家計を支えて
いた人が亡くなった



交通事故
を起こした



人の物を
壊してしまった



介護が必要
になった



仕事を引退して
長生きした



自転車を運転していて事故を
起こしてしまった

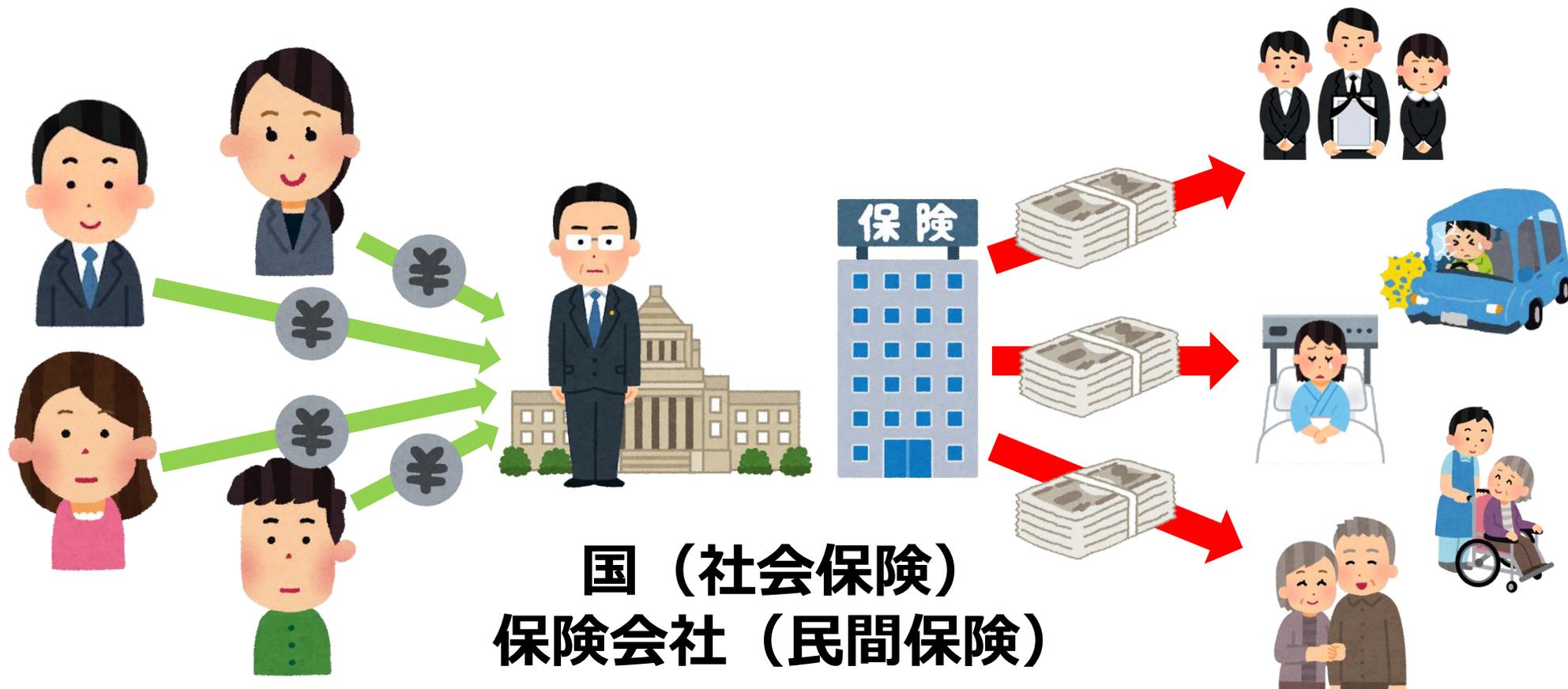
人の物を壊してしまった

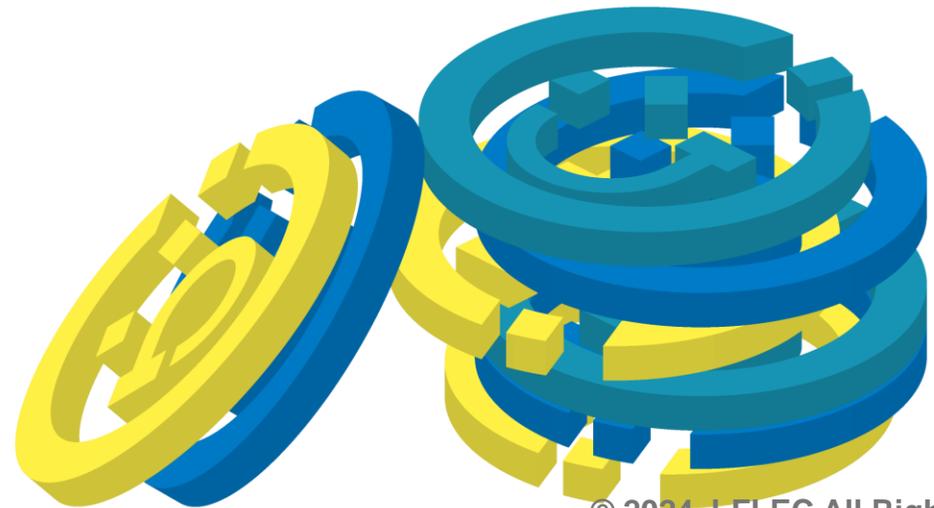
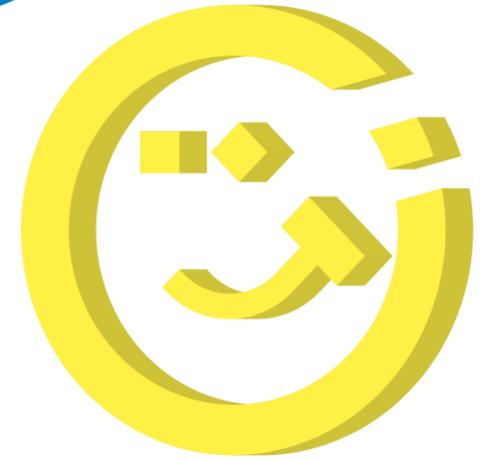
自転車では、小学生から高校生くらいの年齢の人が起こした事故でも、
被害者への賠償金が1億円近くとなるケースもあります。

自転車の運転には特に気をつけましょう。

人の物を壊してしまった時は、すぐに保護者の人等に相談しましょう。

- 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金（＝保険料）を出し合って、万一の際にまとまったお金（＝保険金）が支払われるという仕組みが『**保険**』です。





6 【借りる】

ローン・クレジット



クイズ

?

友達と海外旅行に行くので、金利18%で30万円を借りた。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるのでしょうか？

- ① 6年、約35万円
- ② 9年、約48万円
- ③ 13年、約77万円



30万円の18%はいくらでしょう。
最初の月、返済額5,000円のうち
利息の割合はどれくらいでしょう？



答え

③

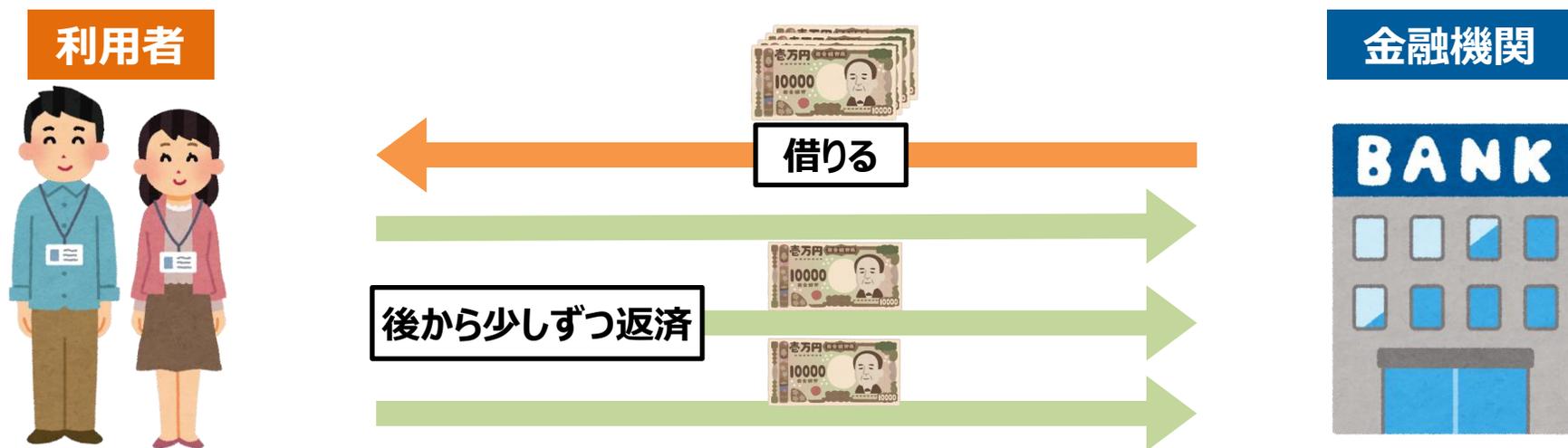
利息が毎月発生するため、30万円の元本に対して、**返済期間は13年、返済額は約77万円**にもなってしまいます。
ローンは計画的に利用することが重要です。



30万円の18%は54,000円（利息）です。
最初の月の利息は $30\text{万円} \times 18\% \div 12\text{カ月} = 4,500\text{円}$ 。
概算ですが、毎月5,000円 \times 12カ月で60,000円返しても、
30万円の元本は6,000円しか減っていません。

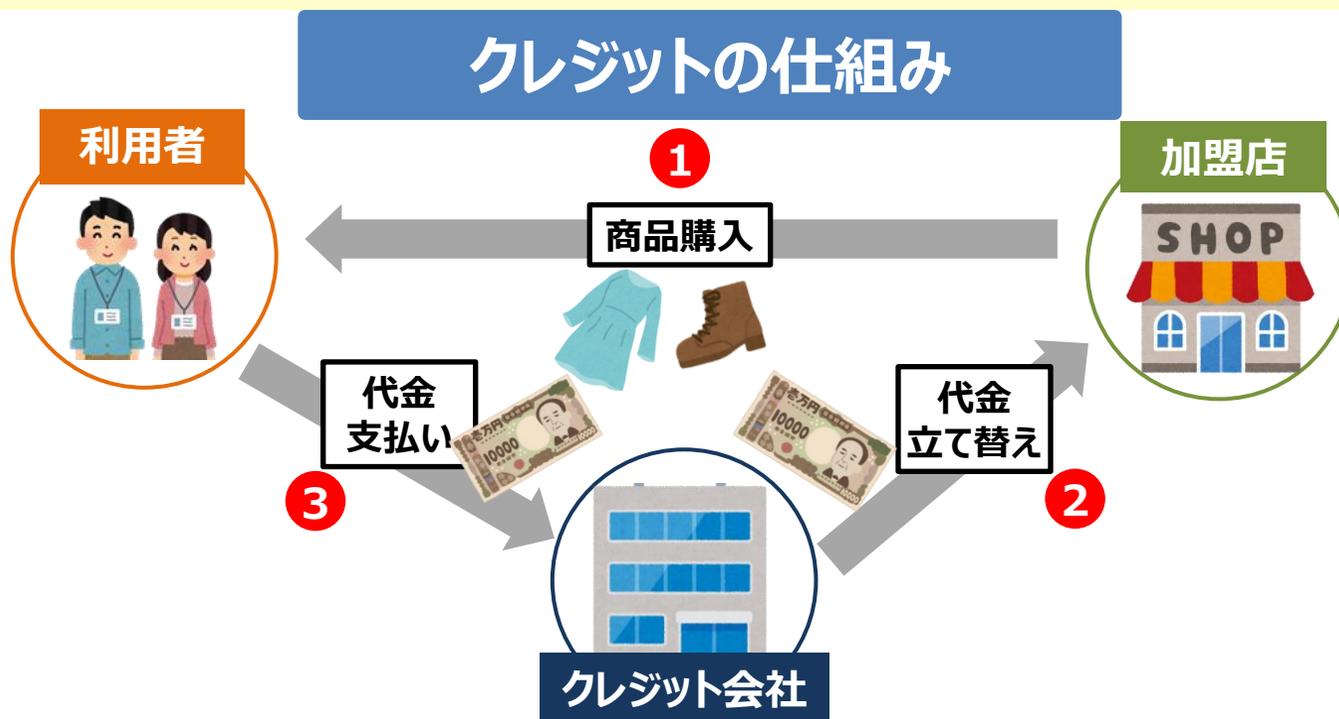
- ローンとは、住宅や自動車など、『お金を一度に用意するのが難しい買い物をする場合に、金融機関からお金を借りて、後から少しずつ支払う約束』のことです。

ローンの仕組み



住宅・自動車などの高額な買い物で後から少しずつ返済。

- クレジットとは、『商品などを買った時点では代金を支払わず、後から支払う約束』のことです。
- 大半は『クレジットカード』での利用になります。



ローンとクレジットは、仕組みは違いますが、どちらも『後で返済（支払い）が必要な借入れ（借金）』です。



- お金の貸し借りには『**利息・金利**』がかかります。
- シミュレーション等で月々の返済額などを確認したうえで、『**計画的に利用**』しましょう。

利息（利息）

借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価（お金）です。

金利（利率）

お金を貸したり借りたりする時の「値段」です。元本に占める利息の割合（%）で表示されます。

利息の計算式

利息は下の式で計算できます。

$$\text{元金} \times \text{金利} \times \text{借入れ期間} = \text{利息の総額}$$

10万円を年利15%で1年借りると？

$$10\text{万円} \times 15\% \times 1\text{年} = 1\text{万}5,000\text{円}$$

※実際にお金を借りたときの返済金額とは異なります。



○ローンを利用するときは以下の点に注意しましょう。

ローン利用時の留意点

- お金を借りたら利息をつけて返さなくてはならない。
『返済期間が長くなるほど利息を含めた支払額は大きくなる』。
- 金利は経済状況や個人の信用度、使い道などによって変わる。
⇒『自分が返せる範囲でお金を借りることが重要』。
- 支払いの遅延などで、「信用度」がさがると、他のローンが組めなくなったり、クレジットカードが作れなくなったりする。



特に家を買うときに住宅ローンを利用する人が多いですが、
『ローンは借金であるという意識』を持ち、計画的に利用しましょう。



- クレジットカードには「ショッピング」と「キャッシング」があります。
- 支払い方を選ぶことができますが、『**リボ払い・分割払いには手数料がかかるため、総支払金額が大きくなります**』。

使える機能

- ショッピング機能
購入代金の立て替え・後払い
- キャッシング機能
現金の借り入れ

支払い方

1回払い



ボーナス一括払い



リボ払い



分割払い



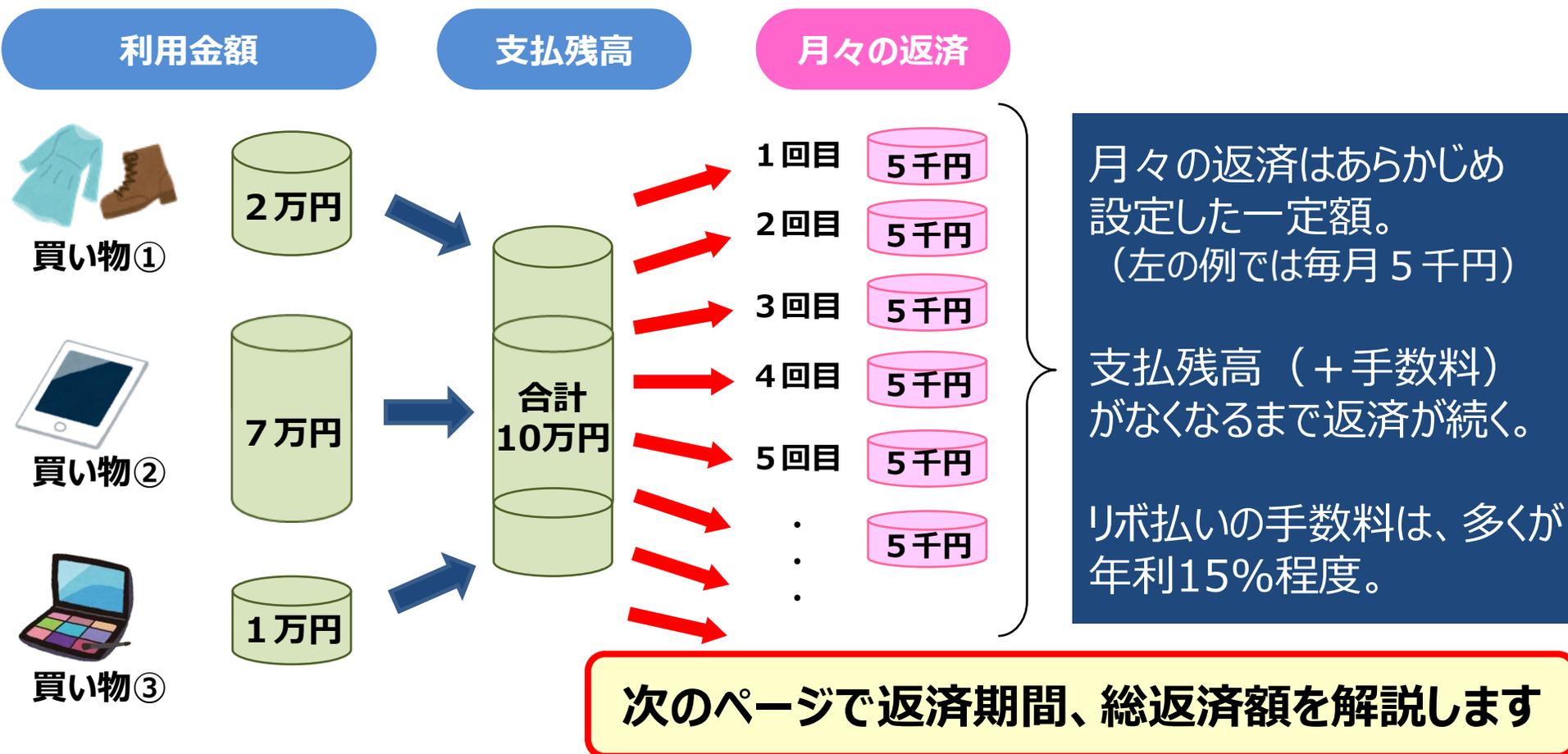
手数料のめやす

1~2回	分割払い
なし	11~15%

リボ払い	キャッシング
12~15%	15~18%

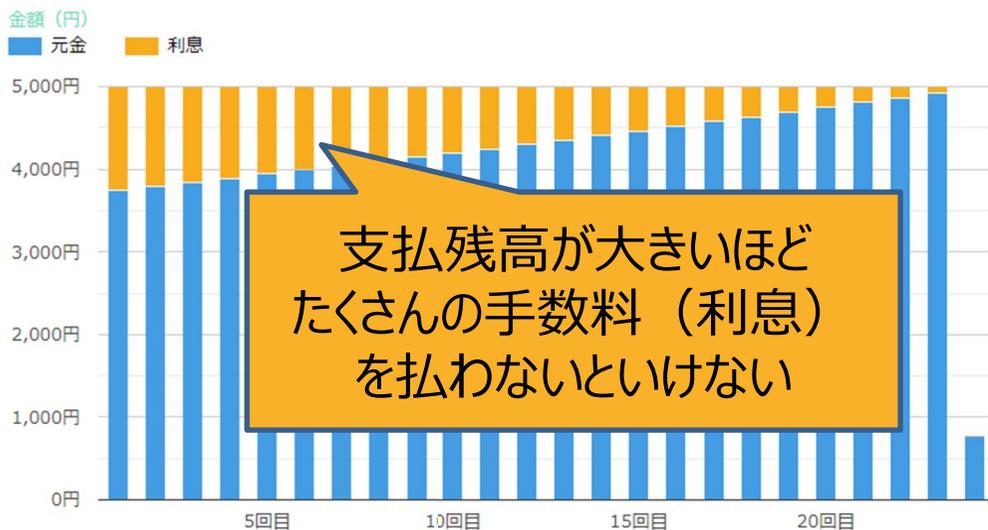
クレジットカードを利用するには、カード会社による審査があります。カードの利用は原則本人のみです。

○リボ払いとは、カードの利用金額や利用回数にかかわらず、
『あらかじめ設定した一定の金額を月々返済する方式』です。



○ 10万円をリボ払い（年利15%）、毎月5千円で返済すると、返済期間2年（24回）、総返済額115,782円になります。

シミュレーション結果



借入目的 クレジットカード 金利 15%
 合計返済金額 115,782円
 うち利息金額 15,782円 毎月返済金額 5,000円
 返済手段 リボ払い

【考え方】

手数料が年利15%なので、1回目の利息は、 $10万円 \times 15\% \div 12カ月 = 1,250円$ です。返済する5,000円から利息の1,250円を引いた分が支払残高から減ることになります。

これを繰り返すと返済期間2年（24回）、総返済額約11.5万円で返済完了となります。

金融庁提供の「借金シミュレーター」で、月々の返済額、返済期間、総返済額等を確認して「**計画的に利用**」しましょう。

金融庁 借金シミュレーター

検索

- リボ払いを利用する場合は、下記の点に注意しましょう。
- 特に近年は、『**リボ払いの名前を変えているケース**』もあり、知らぬ間にリボ払いを利用してしまう可能性もあります。

リボ払いで気を付けること

- リボ払いは毎月一定額の支払いのため、家計管理はしやすくなります。一方で、毎月の返済額が少ないと支払残高が減らず、**長期間支払いを続けることで総支払額が多くなる可能性**があります。
- 現在の利用残高を確認せず、完済前にリボ払いを重ねてしまい、**気づかないうちに多額の手数料を支払うことになる可能性**があります。
- 最近では、「フレックス払い」「つけ払い」「定額払い」等、「**リボ払いの名前を変えているケース**」もよく見られます。「リボ払い」の名前だけ覚えておくのではなく、**どのような仕組みであるかを理解しておきましょう。**

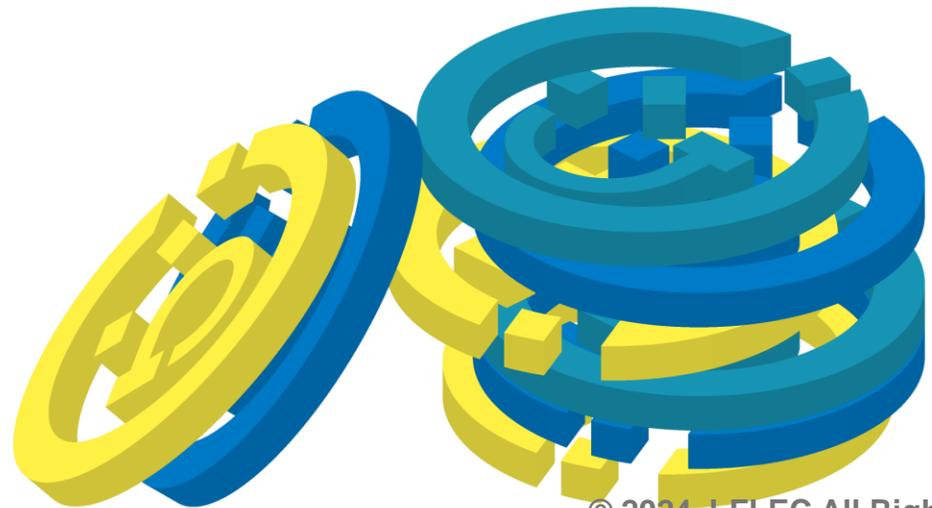
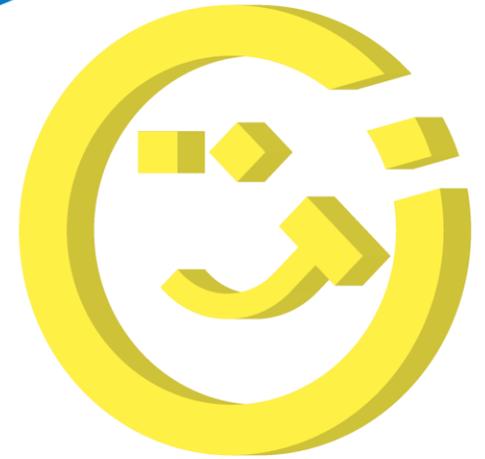
○クレジットカードは非常に便利ですが留意点もあります。

クレジットカード利用時の留意点

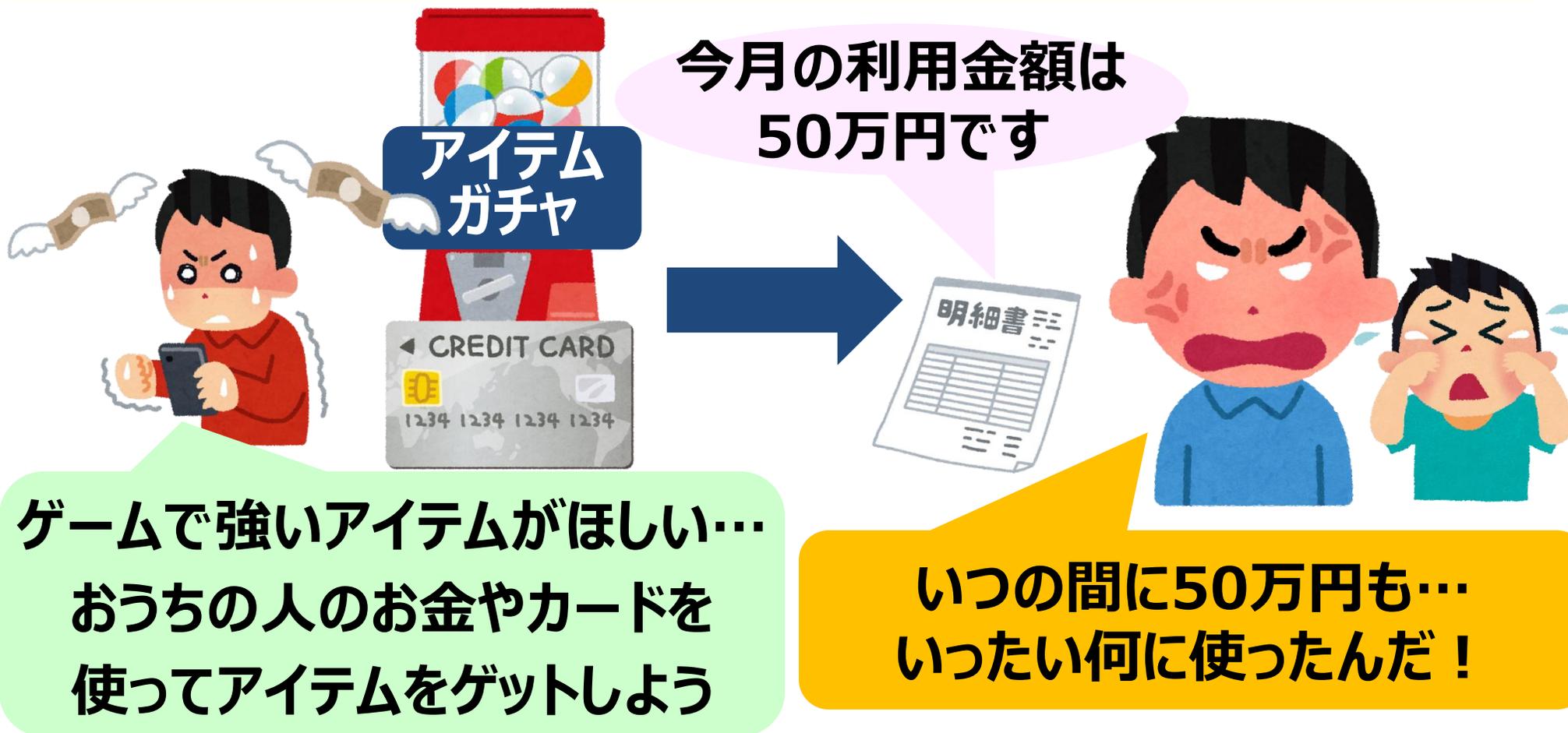
- 目の前のお金が減らないので、使い過ぎる心配がある。
- 分割払い・リボ払いは、借入金利にあたる手数料がかかる。
- カードの紛失・盗難などで悪用される危険がある。
- 支払い遅延などで、「信用度」がさがると、ローンなどが組めなくなる。



7 【注意】
金融トラブル



- オンラインゲームでの『課金』に関するトラブルが増えています。
- ゲームをする時の注意点を考えてみましょう。



ゲームで強いアイテムがほしい…
おうちの人のお金やカードを
使ってアイテムをゲットしよう

いつの間に50万円も…
いったい何に使ったんだ！

○『オンラインゲームでのトラブルのポイント』を押さえておきましょう

1. ゲームのガチャやアイテムには**お金がかかる**。
- 「基本無料」等と書かれていても、お金がかかるケースがほとんどです。
2. 家のお金の**お金やカードは絶対に勝手に使わない**。
- 内緒で使っても、後で家の人に請求書が届くため、必ず分かります。
3. スマートフォンの**キャリア決済等でもお金はかかる**。
- キャリア決済等も、結局後でお金を支払わなければなりません。「キャリア決済ならお金がかからない」と勘違いしてしまう人もいるため、注意が必要です。
4. ゲームでお金が必要な時は**家の人に相談する**。
- 自分のおこづかい以上のお金は使わないようにしましょう。

- 後払いサービスで、気付いたら多額の請求が来てしまうトラブルが多発しています。



インターネットでショッピング！
お金がないけど、この「後払い」
なら欲しかった服が買える！

10万円の請求書が届いた…
いつの間に…
こんなの払えない…

- 『**後払いサービスの注意点**』を押さえておきましょう。
- 商品やサービスを購入するときは、『**後で自分が必ずお金を払わなくてはならない**』ことを覚えておきましょう。

1. **気軽に利用できる**ため、皆さんでも使いやすい
 - －後払いサービスはクレジットカードや現金を持っていなくても利用できるため、気軽に商品やサービスの購入が可能です。
2. 気軽に利用できる分、**いくら使ったかわからなくなりやすい**
 - －気軽に利用できるため、気付いたら利用金額がどんどん増えてしまいやすくなります。
3. 後払いサービスの**名前に注意**（ツケ払い、後からチャージ等）
 - －「ツケ払い」等と名前を変えていたり、お金がなくてもアプリにチャージが可能なサービスがあったりと、後払いであることが分かりづらいケースがあります。サービスを利用する際は、**後で必ず自分がお金を払わなくてはならない**ということを覚えておきましょう。

○『「絶対儲かる、楽しんで稼げる」等とうたった詐欺』が増えています



(出所) 日本証券業協会作成「必ず儲かるUSB」(情報商材勧誘) にご注意ください!

**最近では、高校生でもこうした投資詐欺の被害に
遭う事例があるので、決して遠い将来の話ではありません。**

○投資詐欺では『被害者が加害者になってしまう』こともあります



解約は出来ないけど、
友達を紹介したら1人
10万円紹介料を払うよ



全然儲からないじゃないか…

友人・知人を勧誘して被害が拡大
被害者が加害者に！



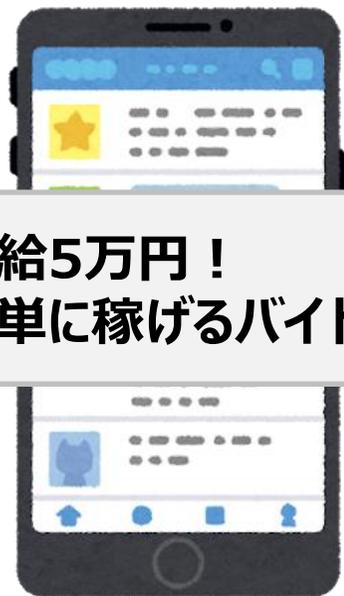
○『詐欺に遭わないためのポイント』を押さえておきましょう

1. 自分は詐欺に引っ掛からないと**思いこまない**。
–「自分は大丈夫」と自信過剰になる人ほど詐欺被害に遭いやすい特徴があります。
2. **友人・知人（先輩など）からの勧誘**であっても注意。
–友人・知人からの勧誘であっても、怪しいと感じたら勇気を持って断りましょう。
3. **「高額な手数料・登録料」**を請求されたら要注意。
4. **「絶対に儲かる」商品はありません**。
–流行りの言葉（AI、メタバース、NFT、仮想通貨、暗号資産等）との組み合わせで、「もしかしたら絶対に儲かる商品があるのかも」と思ってしまいがちです。
5. **「あなただけに特別なご案内」**といった勧誘文句に注意。
–人は「あなたは特別だ」と言われると冷静さを失いやすくなります。

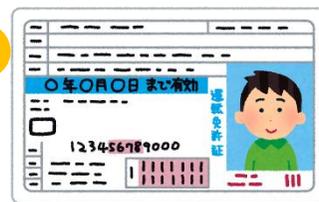
- 闇バイトは、『アルバイトではなく犯罪』です。
- 『簡単にお金が稼げるというおいしい話はない』ことを理解し、巻き込まれそうになった時は、すぐに警察などに相談しましょう。

SNS ネット掲示板

日給5万円！
簡単に稼げるバイト！



お仕事紹介のため、
免許証や家族構成を
登録してください



詐欺や強盗に
加担させられ逮捕

○『闇バイトの特徴』を知っておき、被害を未然に防ぎましょう。

闇バイトの特徴や注意点

1. **「銀行口座を代理で開くだけ」**や、**「現金を引き出すだけ」**等、
一見簡単な仕事に見える。
－いずれも詐欺等に利用されます。簡単に大金を稼ぐ方法はありません。
2. **免許証や学生証、家族構成を登録**させる。
－いざ危険な犯罪であることに気づいても、「住所を知っている」「家族に何かあっても知らないぞ」等と脅されることが多くなります。
3. **犯罪組織に利用され、捨て駒にされる。**
－何度も犯罪をさせられ、最終的には実行犯として闇バイトに応募した人だけ逮捕され、犯罪組織は逃げてしまうケースも多いです。

「闇バイトに応募してしまったかもしれない」「免許証等を登録してしまい脅されている」というときは、**すぐに警察に相談**しましょう。



○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

①『おいしい話には気をつける』。

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。

②向こうから近寄ってきても、『怪しいと思ったらはっきり断る』。

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いません」と断りましょう。

③万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。



- 金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、
『**独りで悩まずに相談**』しましょう。

<p>契約や商品について困ったときは ⇒ 消費者ホットライン (全国共通)</p>	<p>188 (いやや) </p> <p>消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター いややん</p>
<p>警察に相談したいときは ⇒ 警察相談専用電話 (全国共通)</p>	<p>#9110</p>
<p>金融サービスについて困ったときは ⇒ 金融庁 金融サービス利用者相談室</p>	<p>0570-016811</p>



- J-FLECのホームページでは、皆さんの生活に役立つ、お金に関する様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.j-flec.go.jp/>

